

マイナンバーカードで最大2万円分のポイントがもらえます!

現在、「マイナポイント第2弾」の申し込み受付中です!!

マイナポイント事業は、マイナンバーカードを所持している人を対象に、お手持ちのキャッシュレス決済サービスを指定して申し込みをすることで、最大2万円分のポイントが国から付与されるものです。

マイナポイント第2弾は、**マイナンバーカードを令和4年9月末までに交付申請した人が対象となります**ので、お早めに申請をお願いします。(マイナポイントの申込期限は令和5年2月末です)

なお、マイナンバーカードの申請方法は4ページでご確認ください。マイナポイントにつきましては、申込支援窓口を役場内に開設しています。

【マイナポイント申込支援窓口開設場所】

役場3階第3会議室(マイナンバーカード申請・受取窓口と併設)

【開設時間】 月～金曜日(祝日を除く) 8時30分から17時15分まで(受付時間は16時30分まで)

【必要なもの】

マイナンバーカードの「利用者証明用電子証明書」暗証番号(マイナンバーカード交付時に設定した4桁の暗証番号)、マイナポイントを付与する決済サービス(電子マネーなどのICカード、QRコード決済、クレジットカードなど)

※決済サービスは、付与対象のものに限りです。

※公金受取口座登録をする場合は、マイナンバーカードと同一名義の口座情報がわかるもの(預金通帳など)、「券面事項入力補助用」暗証番号(マイナンバーカード交付時に設定した4桁の暗証番号)

☎ 企画財政課 ☎ 32-1102



SDGs “持続可能な養老のまちづくり”

近年、排出されるごみの量が増えています。ごみの量を減らすために自分でできることから始めましょう。食べ残しをしないなど、食品ロスをなくせばごみを減らすことができます。

※「食品ロス」とは、本来食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。

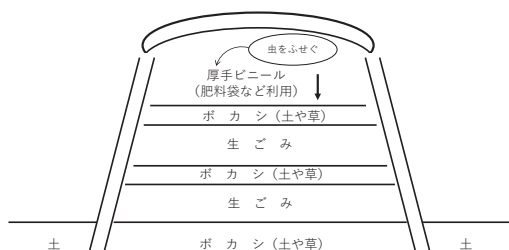
料理を作り過ぎて食べきれなかったり、冷蔵庫に入れたまま賞味(消費)期限が過ぎてしまったり、カビが生えてしまったことはありませんか? 消費者庁の報告によると、家庭の食事だけでも一人あたりの年間の食品ロスは、60回分の食事量に相当します。

生ごみはこんなにたくさん出ています

日本では、まだ食べられる食品が約522万トンも廃棄されています。これは世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料支援料(約420万トン)の1.2倍に相当します。また、日本で1年間にとれるお米の生産量は1年で約860万トンなので、いかに食品ロスが多いのかがわかります。

生ごみの減量と堆肥化

1. 生ごみの水分量は約80%です。しっかり水を切ってから、ごみとして出しましょう。
2. コンポストで生ごみを堆肥にしましょう。



食品ロスをなくすために

- ・ 買い物をする前に冷蔵庫をチェックする。
- ・ 空腹時に買い物をしない。
- ・ すぐに食べるつもりなのは、棚の手前から購入する。(賞味(消費)期限切れによるスーパーでの食品ロスを減らす)
- ・ 期間限定や特売セールなどの売り文句によるまとめ買いに注意する。
- ・ 食材を使い切る工夫をする。
- ・ 残り物は別の料理へアレンジする。
- ・ 残さずに食べる。作り過ぎない・食べられるだけの量にする。
- ・ 備蓄食料は食べられるうちに新しいものと入れ替える。

私たちは便利さ、快適さを追求し、今の豊かな生活にどっぷりと浸かっています。日本には古来から「もったいない」文化があります。今一度生活を見直して、物を大切にする、最後まで使い切るなどを意識し、実行しましょう。

次の世代のために住みやすい地球を守っていくため、ごみの減量に取り組みましょう。

☎ 生活と環境を考える会 ☎ 32-2386
住民環境課 ☎ 32-1104